



部局名 農学部

担当: (光田 靖)

テーマ 綾ユネスコエコパークの農産物ブランド化に向けた景観生態学的研究

取組の概要

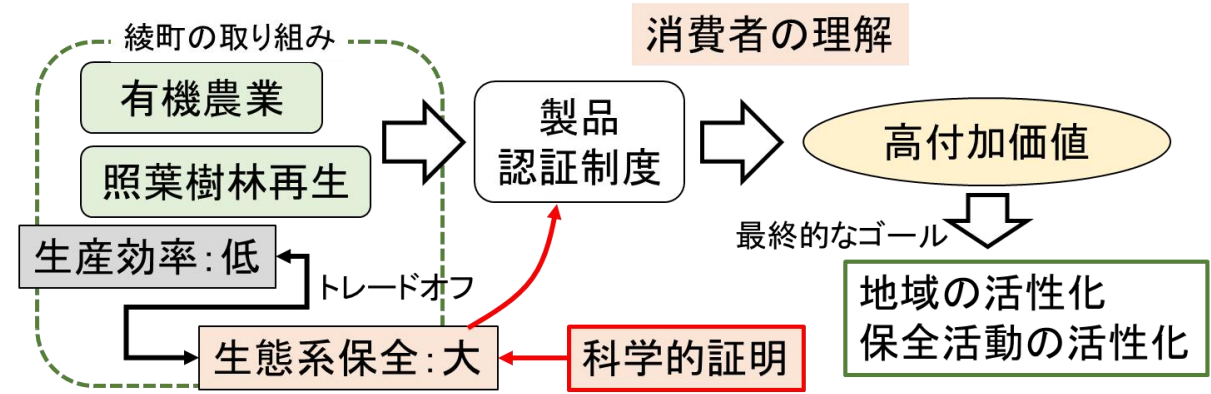


ミツバチ訪花数調査



日向夏の収穫

綾町は2012年にユネスコの生物圏保存地域(日本名:エコパーク)に登録された。エコパークの運営に当たっては、生態系保全と地域経済の活性化を両立することが求められる。これを実現するため、地域の農業生産に対する生態系サービスの効果を定量化し、「エコパークの自然生態系と調和した農産物」としてブランド化を行って付加価値を高めるという戦略を、綾町と協働して立案した。この戦略にもとづいて、綾町の代表的な農産物の一つである日向夏を対象として、里山生態系からもたらされる生態系サービス(ニホンミツバチによる送粉サービス)を定量的に評価する研究を行った。その結果、周囲に天然林が多いほど、殺虫剤を用いない農地が多いほど、ミツバチによる送粉サービスが豊かになることが明らかになった。



照葉樹林再生



ミツバチに好適な環境を創造

有機農業



=豊かな生態系



日向夏 = エコプロダクト

期待される成果

生態系サービスを活用したSDGsの達成モデルの提示

綾町の取組: 照葉樹林再生・有機農業

研究成果: ニホンミツバチによる送粉サービス向上

今後の活動

ブランド化による高付加価値(倫理的消費)

